

## 技術情報

## アースポイントにご用心！ ～塗装時アース部のマスキング 大丈夫ですか？～

□自動車のアース経路のひとつに、ボルト締めによるアース確保がありますが、部品交換や補修の際に本来アースをとるための箇所に塗装をしてしまい、アース不良を招いてしまうケースがあります。またアース経路以外でもネジ部を塗装したことによりボルトやネジの緩みを招く可能性もありますので注意が必要です。

特にアースワッシャーが集中する箇所は、アース接触面積が不足すると電子機器のトラブルが発生する確率が高まります。完全にアース不良になっていると修理直後(納車前)に判るのですが、アースの容量不足のような状態ですと、走行中や電子機器の使用が増えた場合にトラブルとして発生するので十分な注意が必要です。

## 対策①ボルト接合(メスネジ)部・アース接触面のマスキング

最もシンプルで確実な方法です。カーメーカーの補給部品設定によっては、あらかじめアースポイントがマスキング済で塗装されたものもあるようです。

また、ネジ部を簡単にマスキングできる資材も販売されています。(例 岩田製作所 円錐プラグ) 素材や形状、サイズもいろいろありますのでマスキング箇所によって最適なものを選びましょう。



## 対策②アースボルトを正しく使用する

アースのひとつにアースボルトを使用している箇所もあります。

アースボルトは不完全ネジ部を設け、締結時にネジ穴内の塗膜を除去する構造になっています。

アースボルト自体は再利用可能ですが、いくつかの注意が必要です。

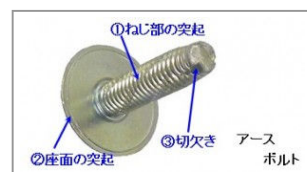
## 《再利用時の注意事項》

## ①部品脱着(塗装修理なし)を行った場合

アースボルトはそのまま使用可能です

## ②対象パネルの塗装修理(ネジ山のマスキングをせずに塗装)を行った場合。

ネジ穴の塗膜を確実に除去することが必要です。薄い塗膜はアースボルトを締め付ける際に塗膜が除去されますが、厚い塗膜の場合、アースボルトの「締め付け/取り外し」を数回繰り返して塗膜を除去するか、タップなどを使用して確実に除去するようにしてください。(アースボルトは再利用時、塗膜除去能力が低下する場合がありますので注意してください)



(↑アースボルトの一例)

## トピックス

## リオスチャンネル OPEN! ～整備・修理専門の動画配信・共有サイト～



プロトリオスでは整備・修理の専門動画サイト「リオスチャンネル」を1月3日にオープンしました。見ごたえのある動画がもりだくさんしかもリオスチャンネルは見るだけじゃない！動画の投稿も可能です。

投稿方法は **かんたん5ステップ**

## ステップ1

Youtubeにログインして、動画ファイルをアップ!

※タイトルと説明文を入力してください

## ステップ2

公開設定を「公開」か「限定公開」で選択!

※「非公開」では登録できません。

## ステップ3

「埋め込みを許可」にしてチェックイン完了!

※チェックしない場合は登録できません。

## ステップ4

リオスチャンネルに会員登録してログイン!

※「無料」「有料」いずれかを選択してください。

## ステップ5

YoutubeのビデオIDを入力して、データ取得して登録!

投稿完了

ぜひ  
おためしを

Youtubeへの投稿

リオスチャンネルへの投稿